

※このまま印刷して、参加者に配布します。

令和5年度 南郷 地区集会 自由テーマ

自由テーマ

ごみ問題とごみ資源化について（現状把握と今後の取組み）

テーマ選定理由

持続可能な社会を実現するためには、新たな資源を使わずにものを作り出す技術開発や企業・行政、そして私たち一人ひとりの意識や行動の変革が求められています。

昨年に施行された「プラスチック製品の資源化を促す法律」では、「事業者（企業）」「自治体（行政）」「消費者（市民）」が連携しながら、プラスチック製品のライフサイクル全般（設計・生産・販売・廃棄・回収）における資源循環の取組みを求めています。

掛川市では、新たな焼却炉の建設計画や「おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」がスタートし、捨てる量を減らすことだけではなく、燃やさずに資源化するなど、循環型社会の形成に加え、限りある予算を有効に活用した、豊かなまちづくりの実現を目指しています。

一方、自治体に於いては、ごみ集積所でのごみ出しルールが守られない（ごみ出しの日時違反、未分別～分別方法が分からない、分別が面倒、分別の必要性が分からない等）ことや不法投棄などの問題に、日々対応を迫られています。

こうした背景を踏まえ、ごみ問題への対応や、今なぜ、私たちはごみを減らし、資源化をしなければならないのかを考える場として、ワークショップ形式にて、自由な意見交換を行った上で、市民目線でのアイデアを提案したいと思います。

具体的な提案等

- ① 掛川市のごみ処理の現状と今後の取組について説明してほしい
（排出量、ごみ処理経費等）
- ② ごみ問題への対策の提案（環境美化部会アンケート結果を踏まえて）
- ③ ごみ減量や資源化に向けて市民が出来る事、意識を変えるには何をすべきかを提案